

九度山から 山上をめざす、 高野山への表参道。



高野山への道標として1町(約109m)おきに石柱が立っています。慈尊院から壇上伽藍の大塔まで約22kmの道のりに180基、大塔から奥の院御廟まで約4kmに36基。そして、合計216基の町石と、36町(1里)ごとに里石が4基置かれています。それぞれの町石には密教の諸尊を表わす梵字が刻まれており、かつて高野詣での人々はこの石の一つひとつ手を合わせて登ったとされています。



町石 高さ約3m、五輪卒塔婆形の石柱。もとは木製の卒塔婆でしたが、それが朽ちたため石造に。今もそのほとんどが残っています。

弘法大師の
足跡を感じる
言い伝えの石

おしあげ
押上石

けいさかけ
袈裟掛石

かがみ
鏡石

矢立を過ぎ、しばらく行くと、不思議な形の石が現れます。弘法大師が袈裟を掛けたという「袈裟掛石」。石の下をくぐると長生きするとか。その先には「押上石」。弘法大師の母が結界を越えて入山しようとしたとき、激しい雷雨が火の雨となり、大師はこの大岩を押し上げて母をかくまったと伝えられています。「鏡石」は鏡のように平らな石で、そこに座って真言をとなえたと悟りが得られるといわれています。

見どころ PickUp



● 慈尊院 (世界遺産)

高野山を開くにあたり、一山の庶務を行う政所とされたところ。弘法大師の母がわが子を慕ってここに住み、その没後、女人霊場として有名に。以来、安産・育児などを願う女性の信仰を集め、「女人高野」と呼び親しまれています。



● 勝利寺・紙遊苑

厄除観音を祀る古寺。境内にある紙遊苑では、九度山町特産の「高野紙」の紙すきジオラマや工芸品を展示。紙すき体験もできます。

●入苑無料 ●開苑時間:9時~16時30分(入苑は16時まで) ●休苑日:月曜日・火曜日(祝日の場合は開苑)、年末年始 Tel.0736(54)3484

● 丹生都比売神社 (世界遺産)

高野山の地主神である丹生明神と、その子で弘法大師を山上へ案内したという狩場明神が祀られています。杉木立の中に朱塗りの太鼓橋、楼門、本殿が美しく映えています。

● ニツ鳥居

石の鳥居が二つ並んだ珍しい光景。山上の明神社の一の鳥居で、丹生都比売神社を拜する場所とされています。



● 丹生官省符神社 (世界遺産)

弘法大師が慈尊院を創建する際、その鎮守として丹生・高野明神を祀ったのが始まり。社殿は、春日造りの麗なたたずまいです。

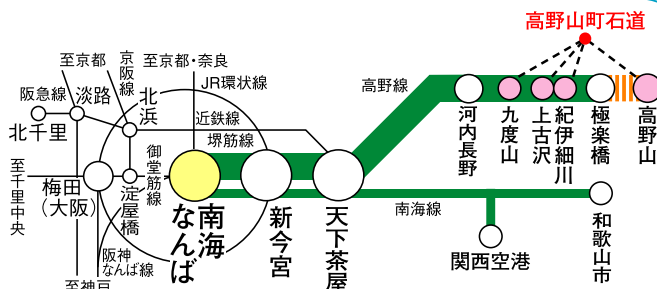


◆◆◆ 九度山の地名の由来 ◆◆◆

弘法大師は、月に九度は必ず山上から20数キロの道を下って母を訪ねたといわれ、「九度山」の地名の由来となっています。

お願い・ご注意

- 所要時間には食昼や休憩時間は含みません。また標準的な歩行速度による目安ですので、各自のペース配分をお守りください。
- ゴミや空き缶はご自分で持ち帰りください。
- タバコなどの火の後始末は十分ご注意ください。
- 自然はみんなの財産です。草花を摘んだり、樹木を傷つける行為は慎んでください。
- 体調や天候に注意して、ハイキングに適した動きやすい服装でお出かけください。雨具や薬などの用意もお忘れなく。
- 交通機関の時刻は、事前にご確認ください。
- 自然災害等により、コースが通行できない場合も生じますのでご注意ください。
- このパンフレットは2009年2月の取材に基づいて作成しています。



●お問い合わせ 南海テレホンセンター
☎06(6643)1005
●南海電鉄ホームページ <http://www.nankai.co.jp/>